

2018年4月②『ウラシマソウ』

竜王山、山野草が春のクライマックス

いよいよ今月末に向けて、竜王山の山野草が春のクライマックスに向かっていきます。

ウラシマソウ（サトイモ科）が見ごろとなってきました。

およそ一般的な花のイメージとは異なります。

葉柄の脇から花茎を伸ばし10cm前後の花が咲きます。

これを仏炎苞と呼んでいます。この先から糸が伸びます。

これを浦島太郎の釣り糸に見立てて「ウラシマソウ」の名がつけられました。

糸の長さは個体によって異なりますが40～60cmあります。竜王山ではあちらこちらで見ることができます。

4月28日（土）には本山公民館主催の「竜王山 山野草ウォッチング」が開催されます。

（申し込み先：本山公民館、0836-88-1395）



▲ウラシマソウ (撮影/2018年4月某日)